

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 2 回		
事 務 局	公民館貫井北分館		
開 催 日 時	平成 2 6 年 9 月 2 日 (火)		
開 催 場 所	公民館貫井北分館 学習室D		
出 席 委 員	小川委員、宮崎委員、師岡委員、吉田委員、若井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	倉橋副理事長、村山分館長、伊藤副分館長、野津、星		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1 報告事項 ①若者コーナー ②はなみずき学級 (高齢者学級) 2 審議事項 ①市民が自主的に企画 (成人学校) ②地域研究 (成人学校) ③北町ホールの健康づくり (成人学校) ④地域の芸術活動支援 (芸術のつどい) ⑤子育て・子育て支援 (成人学校)		

	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回開催 10月7日(火) 午前10時～12時 学習室D
<p>会議内容</p>	<p>1 報告事項</p> <p>野津：本日から、司会進行は交代して担当したいと思います。今回の進行は、小川さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>伊藤：若者コーナーについて、ご報告いたします。若者コーナーに関する各事業につきましては、主役である若者たちに聞きながら、進めたいと思います。図書館との共同開催であるビブリオバトルにつきましては、9月27日に体験会を予定しています。現在、発表者と観覧者を募集しています。</p> <p>野津：高齢者学級につきましては、準備会で意見を聞いて内容を企画いたしました。現在、定員40名に対して応募者は24名の申し込みを受けております。他の分館での高齢者学級に申し込みされている方もいましたので、本館と相談して名簿から外させていただきました。まだ、定員を満たしておりませんので、今後も広く周知したいと考えております。</p> <p>小川：市民掲示板に、チラシを3枚掲示してきました。</p> <p>高齢者学級には、痴呆防止、アンチエイジング、孤独防止などに役立ちますので、多くの方に来てもらいたい。本館の高齢者学級は、募集70名のところ90名もの応募があった。他の分館でも、高齢者学級は大変人気があって抽選となっている。詐欺に</p>

引っかかる高齢者は多いので警察署の警官に来てもらって、オレオレ詐欺に関する勉強会を開いてみてはどうか。

若井：最初は参加者が24名で、徐々に広げることではないのでは。こぢんまりとしていて、学校らしいかもしれない。

野津：来年は、募集時期が他の公民館と同じ、同時開催なので、定員割れにならないようにしたい。

小川：緑分館では、1階掲示板でも周知している。1階にも掲示スペースがあるといい。

若井：口コミも大切。

吉田：今回参加された人が来年は口コミで広がるのでは。

2 審議事項

村山：市民が作る自主企画として進めている、婚活についてですが、先日、若井さんと野津さんに婚活のイベントを見学していただき、募集方法や内容について調べてきてもらいました。婚活は大きな課題ではあるが、企業なども巻き込み、協賛など進める必要がありそうである。公民館だけの募集では実現が難しい。最初に若い年齢層を公民館に親しんでもらう事業から準備していく必要があるそうである。

若井：婚活イベントを見学した感想では、各企業の社長を巻き込み、参加者は企業が誘致している。公民館単独、商工会議所レベルでの開催は難しい。

宮崎：婚活は国の問題。市ぐるみで対応しないと、絶対失

敗すると思いますね。

村山：婚活ですと難しいので、その世代の人々に公民館へ来てもらえるような企画を立てたらどうか。

若井：失敗してもいいから、1度やってみては。やり方含めて、相談してみてもどうか。会社とかにインフォメーションしてもらって、集めてみてはどうか。

吉田：平日、夜間、土日曜日に開催する講座を開催すれば若い方々でも参加しやすいのではないかと。

若井：若者を集めたい。スタジオを利用するのもいい。

宮崎：近隣の区域まで広げて周知してみてもどうか。

野津：地域研究の事業について。市内の有名なレストランに等に行って、建物の説明を聞いてみたいと考えている。

若井：いい企画ではないか。三光院などの企画がいいのでは。

師岡：小金井神社に相談してみても。神社に中学生が、よく集まっている。貫井神社でもいい。

吉田：神社の人を公民館に呼んで、お話ししていただいてもどうか。神社を見学しながら、お茶をしながらなどのイベント的な要素を入れてみるのも面白いのでは。

野津：北町ホールでの健康づくりは、若い方を対象として1月～3月の開催を考えています。内容については白紙なので、皆さんに考えてもらいたい。

師岡：冬だからスケート教室はどうか？昔、スケート教室をやっていたのでは。昔、スケート連盟が現地集合でやっていた。

野津：事業を通じて、北町ホールを知っていただきたい。

吉田：ラジオ体操はどうか。基本的なものを取り上げるのもいい。

若井：参加されている人は、顔なじみになっている。セットにして宣伝してみるのもいい。

宮崎：さくら体操もいい。

師岡：農工大学など、4箇所ぐらいで行っている。

野津：予算があるので、講師を呼ぶこともできます。

小川：高齢者は体力が落ちてきている。体操を勉強している。腰痛対策や筋肉アップという講師を見つけない。

野津：次回、審議を設定したい。

星：芸術のつどいは、来年2月～3月の実施を予定していますが、全くの白紙となっています。次回の会議で決められたらと考えています。アートフェスタのアンケート結果から、地域のアーティストと知り合えて良かったという感想があった。自分で体験してみたかったという回答もあった。

小川：どのような芸術を考えていますか。

星：白紙です。企画実行委員の皆さんにアイデアがあれば持ってきていただきたい。私からは、アートフェスタの出展者を呼んでワークショップを開けたらと考えています。自主サークルグループを公民館として支えたい。

若井：アートフェスタに結びつけられたらいい。

星：子育て・子育ち事業は、第1弾として、10月にフォト&スクラップブック講座を企画しまし

た。第2弾は、2月～3月の開催を予定しています。準備会は開かず、企画実行委員の方々と進めたい。正しい情報を自分で調べて何を信じればいいのかを、講座を通じて判断してもらえようになっていただきたい。その題材の例として、化粧品を考えています。

小川：子ども人権をテーマにするといい。一般論として、子育てのことは保健センターの先生方にきいてみるといい。

野津：化粧品と聞いても、イメージが全く分からない。

星：化粧品の科学的な成分を紹介して勉強会を開きたい。その勉強会を通じて、お母さん同士のコミュニケーションにつなげたい。

小川：テーマが、子育て・子育て事業から離れているのではないか。

星：講座をお母さん方が、公民館にまた来たいと思えるきっかけにしたい。

小川：フォト&スクラップブックのタイトルは、イメージがわからず、難しかった。素人でも分かるようなタイトルが望ましい。保健センターへのチラシ配布も忘れずにお願いします。

星：保健センターと近くの児童館へ配布する。成人学級については、来週ぐらいには対象を決めて進めたい。2時間を3回考えています。開催は、2月以降を考えています。

若井：年齢は関係ない。野川について取り上げてみてはどうか。好きな人は、沢山いる。

吉田：生き物だったら、夏休み頃がいい。

小川：ゴミ問題についてもぜひ取り上げてもいいのでは。

2 その他

：次回、第3回開催は10月7日（火）午前10時～
12時、場所は学習室Dを予定しています。よろしく
お願いします。